

2017 人間生活工学ワークショップ 「「楽しみ」を考える・デザインする」

開催日 2017年11月17日(金曜) 13:30~17:00 (13:00より受付開始)

場所 早稲田大学 西早稲田キャンパス 62号館1階会議室

テーマ 「楽しみ」を考える・デザインする

主催：早稲田大学創造理工学部人間生活工学研究室・(一社)人間生活工学研究センター (HQL)

【開催の狙い】

「経験価値」「体験価値」「UX:user experience」などに言葉に象徴されるように、昨今、よい「ことづくり」が先にあり、それを実現する「ものづくり」が次にあると言われていています。では「ことづくり」の根底にある「楽しみ」、とくに時間的にもゆとりのある大人の楽しみはどこにあるのだろうか？ そのようなことを日本の文化、日本人の価値観に立ち返りながら考えたいと思います。今回のワークショップを通じて、よい“ことづくり”への多くの気づきが得られることと期待しております。

(ナビゲート：早稲田大学創造理工学部 経営システム工学科 小松原明哲教授)

■江戸における日常の楽しみと娯楽

小沢詠美子先生(成城大学非常勤講師(日本近世史))

江戸で暮らす人びとは、楽しみを見つけるのがとても上手でした。「いき」な衣類で身を包み、初物に舌鼓を打ち、いそいそと物見遊山や歌舞伎に出かけて行く。そんな日常の楽しみと娯楽について、概観してみましよう。

■JR東日本「TRAIN SUITE 四季島」の旅

平松 佑氏(東日本旅客鉄道営業部 地域連携プロジェクト)

JR東日本では、2017年5月1日からTRAIN SUITE 四季島の運行を開始しました。今までにない新しい旅の形を提供するクルーズトレインの旅です。移動が目的ではなく、列車に乗り、旅の時間を過ごすこと自体を目的としています。そのコンセプト、お客様のご評価、地域との繋がりについて紹介いたします。

■「さあ、帝国ホテルを楽しもう！」 ～安心、安全のおもてなし～

山中左衛子氏(株式会社帝国ホテル 内部統制部)

グランドホテルはひとつの街。「帝国ホテルなら安心」「帝国ホテルにくるとほっとする」・・・ホテルを楽しむお客様、その舞台を支えるスタッフの楽しみ。帝国ホテルが127年の歴史の中でお客様と育んできたホテルで過ごす時間の価値、その価値を高めるしくみとおもてなしの心についてご紹介します。

【ご案内】

- どなたでも参加できますが、事前にお申し込み下さい。
会場の都合により先着40名まで受け付けます。
- 申し込み先：人間生活工学研究センター東京事務所 kouza@hq1.jp (FAX：03-5405-2143)
氏名と所属・連絡先
※HQL会員（企業，個人）の方にはその旨を明記して下さい。
- 参加費：2000円（HQL会員は1000円）。当日受付にて支払い。
- 東京メトロ副都心線「西早稲田」駅下車が極めて便利です（キャンパスは駅に直結）。
駅（早大理工方面出口）を出て頂きキャンパスの反対側（西端）の校舎が会場となります
（会場は62号館1階）。

